

54 文化・生涯学習・スポーツの振興

(1) 区民の文化芸術・生涯学習活動を支援する

●文化芸術・生涯学習施策の推進

『ビジョン』に基づき、区の魅力的な文化の掘り起こしや一流の音楽家・芸術家などによる本格イベントの開催など、文化芸術および生涯学習施策のさまざまな取組を進めている。

●文化芸術の振興に関する事業

身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、「絵画展示」と「野外彫刻設置」の2つの事業を行っている。

また、地域の魅力を高めるため、区ならではの文化芸術事業を実施している。

- ・真夏の音楽会 vol. 5 大谷康子と楽しむ音楽の旅ーイギリスー
- ・こどもアートアドベンチャー
- ・みどりの風 練馬薪能

●映像∞文化施策の推進

区では昭和初期から現在に至るまで実写・アニメを問わず映像を作る環境が整っている。こうした状況を背景に、区と映像のつながりや映画の魅力を伝える様々な事業を実施した。

1 映像∞文化のまち構想の策定

映像やアニメなどの映像文化をテーマとしたソフト・ハードが一体となった夢のあるまちづくりを進めるため、3年11月に構想を策定した。

2 映画上映会

「ワーナー ブラザース スタジオツアー東京ーメイキング・オブ・ハリー・ポッター」開設に向けた機運醸成イベントとして、ハリー・ポッターシリーズ全8作品を一挙に上映した。

3 映像文化と教育の連携事業の実施

区内の小・中学校において、映像制作等の体験授業を実施している。4年度は11校で延べ13授業を実施した。

4 映像文化情報の発信

(1) ねりま映画サロンの実施

区ゆかりの俳優による対談動画をオンライン配信した。

出演：伊東四朗氏、毒蝮三太夫氏、山川静夫氏

(2) 映像∞文化のまち ねりまの本格稼働

練馬アニメーションサイトと統合し、区が誇る

映像文化の魅力を区内外に発信するサイトとしてリニューアルをした。上記対談動画やインタビューに加え、マップや年表、コラムなど、練馬と映像文化の理解が深まる様々なコンテンツを公開した。



〔サイトメインビジュアル〕

●公益財団法人練馬区文化振興協会

豊かな区民文化の創造と多様な文化の発展に寄与することを目的に、昭和57年9月に財団法人として設立した。その後、平成24年4月に公益財団法人に移行し、28年度から、日本を代表するヴァイオリニストの大谷康子氏を理事長に迎えた。

地域における自主的な文化芸術活動を促進し、また文化芸術の裾野を広げるため、区内文化団体への活動支援を行うとともに、区民に向けて情報を広く発信している。

石神井公園ふるさと文化館、美術館、練馬文化センターおよび大泉学園ホールの指定管理者として、魅力ある文化芸術事業の充実に取り組んでいる。

●練馬文化センター

区の文化芸術拠点として区民文化の創造と発展に寄与するため、昭和58年4月に開館した。

4年度は指定管理者として、音楽、伝統芸能などの公演事業、区民の文化芸術活動・団体の支援などを実施した。(18事業)

1 公演事業 13事業

(1) 音楽事業 4事業

①クラシックコンサート 2事業

②アトリウムミニステージ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、「アフタヌーン・ミニコンサート」として実施

③拠点コンサート

(2) 伝統文化事業 2事業

- ①小学校狂言師派遣事業
- ②小学校能楽師派遣事業
- (3) その他公演事業 7事業

2 区民の文化芸術活動・団体の支援に係る事業

5 事業

- (1) 演奏家等派遣事業
- (2) 舞台芸術支援事業 など

〔練馬文化センターの利用状況〕 4年度

	利用件数 (件) (※)	入場者数 (人)
大ホール	176	110,795
小ホール	170	45,221
ギャラリー	104	3,821
リハーサル室	764	14,562
集会室	316	4,001
計	1,530	178,400

注：4年10月15日から6年4月30日(予定)まで、大規模改修工事のため休館

※：延べ利用団体件数

●大泉学園ホール（大泉学園ゆめりあホール）

区民文化の創造と発展に寄与するため、大泉学園駅北口再開発ビル「ゆめりあ1」内に、平成14年2月に開館した。

〔大泉学園ホールの利用状況〕 4年度

	利用件数 (件) (※)	入場者数 (人)
ホール	472	35,355
ギャラリー	119	5,147
計	591	40,502

※：延べ利用団体件数

●練馬区立美術館

区民の美術に関する知識および教養の向上を図り、区民文化の発展に寄与することを目的に、昭和60年10月に開館した。

美術に関する学識経験者等により構成する美術館運営協議会を設置し、幅広い意見を反映した活動を行っている。

美術館の再整備については、基本構想策定検討委員会の提言をもとに、区民意見反映制度に寄せられた意見等を踏まえ、4年3月に基本構想を策定した。5年度は、基本構想で掲げるコンセプト実現に向け、公募型プロポーザル方式により選定した(株)平田晃久建築設計事務所の平田晃久氏を設計者として、基本設計を完了させ、実施設計に着手する。

1 展示事業

年間4～6回の企画展や、美術館の所蔵作品によるコレクション展などの展覧会を開催している。また、

地域に根差した美術館として、区内在住の美術家協会会員の作品を紹介する「練馬区美術家協会展」や、区民の公募作品による「練馬区民美術展」を開催している。

〔企画展〕

4年度

展覧会名	会期	観覧者数 (人)
「時代を映す絵画たち」展 —コレクションにみる 戦後美術の歩み—	4月10日～6月 12日 (55日間)	3,232
「生誕100年 朝倉摂」展	6月26日～8月 14日 (43日間)	10,164
「日本の中のマネ」展 —出会い、120年のイメージ—	9月4日～11月 3日 (52日間)	18,434
「平子雄一×練馬区立美術館 コレクション」展 —inheritance, metamorphosis, rebirth 〔遺産、変形、再生〕—	11月18日～2月 12日 (70日間)	5,852
「本と絵画の800年」展 —吉野石膏所蔵の貴重書と 絵画コレクション—	2月26日～4月 16日 (43日間)	13,111

2 教育普及事業

展覧会関連の企画を中心に各種講座やワークショップを実施している。また、「スクールプログラム」による団体鑑賞や職場体験等の受入れ、小・中学校の教員を対象に学芸員が作品解説を行う「ティーチャーズデイ」の実施、鑑賞学習教材の貸出しなど、学校との連携を深めている。

3 美術作品の収集

区にゆかりのある優れた作品の収集を行うとともに、幅広い視野から近・現代の優れた美術作品を系統的に収集している。4年度末の全所蔵数(寄託含む)は7,593点である。

4 美術の森緑地

平成27年3月に美術館の前庭にあたる緑地をリニューアルし、動物彫刻等32体を野外展示している。

●石神井公園ふるさと文化館

区の伝統文化を生かし、新たな地域文化を創造するため、観光振興にも寄与する博物館機能を有する施設として、平成22年3月に開館した。

また、隣接公園内に「旧内田家住宅」(区指定文化財)を移築復元し、建物内部も公開している。

26年4月1日に区立石神井松の風文化公園管理棟内に分室を設置した。

館の事業には区民サポーター85名が携わり、区民と館を結ぶ役割を担う存在として活動している。4年度は、分室を含め延べ174,531人が来館した。

1 展示事業

(1) 常設展

「江戸・東京近郊の暮らし」をテーマに、練馬区の歴史・民俗・伝統文化の特色を伝える展示を行っている。分室では、練馬区ゆかりの文化人に関する展示事業と作家・五味康祐氏が愛用したオーディオの展示などを行っている。

(2) 特別展

区の歴史などのほか、幅広い視野からテーマを設定した特別展を4年度は1回開催した。

〔特別展〕		4年度
展覧会名	会期	観覧者数(人)
練馬といえば！大根 —練馬大根いまむかし—	9月17日～11月6日(44日間)	2,644

(3) 企画展

収蔵資料などからテーマを決めた企画展を4年度は3回開催した。

〔企画展〕		4年度
展覧会名	会期	観覧者数(人)
昭和初期の練馬ライフ	4月9日～6月5日(50日間)	7,893
石神井公園 —池のほとりに育まれた 自然と歴史—	6月18日～8月14日(50日間)	5,085
みんなの校歌—練馬区編—	1月21日～3月21日(51日間)	3,259

(4) わがまち練馬情報コーナー 1・2

区内の自然・名所や、伝統工芸、ねりコレなどの産業情報、区民の創作作品を展示、紹介している。

2 教育普及事業

区の歴史・民俗・伝統文化等に関する講座、季節体験事業などを実施している。分室では、貴重なオーディオを用いて、さまざまなイベントを開催している。

3 資料収集事業

区の伝統文化にかかわる資料を幅広く系統的に収集している。

4 施設貸出し

区民の文化活動の練習・発表の場として、多目的会議室、企画展示室、ギャラリー、展示用ボックス等の貸出しを行っている。

●生涯学習センター

昭和28年に練馬公民館として開館し、平成24年4

月に名称を「生涯学習センター」と変更した。29年度には、生涯学習施設を生涯学習センター分館と向山庭園を合わせた3館体制とし、生涯学習センターを区の生涯学習の中核を担う施設として整備した。

地域活動を行う人材の基盤づくり、生涯学習を行う団体への支援、生涯学習に関する情報提供を中心とした事業を行っており、施設は区民の自主的な活動場所として利用されている。

1 地域活動を行う人材の基盤づくり

(1) 武蔵大学特別履修生制度

4月から翌年3月までの1年間、武蔵大学で大学生と一緒に授業を履修する制度である。ボランティア活動の経験者、「つながるカレッジねりま」または「練馬Enカレッジ」の受講生もしくは修了生を対象としている。履修料の一部を区と武蔵大学で負担する。4年度の履修生は24人だった。

2 生涯学習団体等の支援

(1) 生涯学習団体届出制度

芸術・文化、市民生活、社会教育、子育て、健康、福祉、レクリエーション、スポーツ等さまざまな分野で活動し、一定の要件を満たす団体を生涯学習団体として登録している。

団体の名簿を公開しており、新たな会員獲得による団体の活性化を支援している。4年度末現在、290団体が区に届出されている。

(2) 団体活動支援

区民文化祭、サークル文化祭、文化団体舞台発表促進事業等の文化活動団体の発表を支援するほか、趣味と仲間づくり講座「縁ジョイ倶楽部」を実施し、新たな会員募集の支援を行っている。

3 生涯学習情報の提供

(1) 区民発出前講座

さまざまな趣味や特技を持つ区民・団体に、講座の企画内容を登録してもらい、地域の団体・サークルに講師として紹介している。4年度末現在で、56講座が登録されている。

(2) 学びと文化の情報サイト(あ・そ・ぶサイト)

学びに関する団体情報や区内で開催されるさまざまな催し等の最新情報を、区民が活動したいときや学びたいときに、いつでも得られるよう情報提供している。

〔各種事業実施状況〕

4年度

事業名	実施状況	
縁ジョイ倶楽部	11講座 延べ435人受講	
盆踊り講習会	2回 延べ185人受講	
練馬児童合唱団	在団生 55人 定期演奏会 1回 664人入場	
サークル文化祭	舞台発表会	2日 延べ560人受講
	作品展	3日 延べ751人受講
区民文化祭	参加団体 17団体 6,872人参加	
寿大学通信講座	書道・俳句2科目 延べ5,000人受講	
	スクーリング 5回 延べ153人受講	
	書初め展 1回 書道163点 俳句140句 出品	
公開講座	4大学 延べ449人受講	
区民将棋大会	実施なし(※)	

※：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

〔生涯学習センターの利用状況〕

4年度

	利用件数(件)	利用者数(人)
ホール	497	46,567
第一会議室	562	4,789
第二会議室	520	4,173
第一教室	829	12,901
第二教室	555	5,123
第三教室	612	6,408
和室(大)	656	4,561
和室(中)	510	3,855
和室(小)	551	2,681
美術工芸室	414	4,027
視聴覚室	768	11,119
調理実習室	144	1,443
陶芸室	166	461
保育室	201	915
合計	6,985	109,023

〔生涯学習センター分館の利用状況〕

4年度

	利用件数(件)	利用者数(人)
講座室1	303	2,689
講座室2	303	1,982
講座室3	414	2,834
講座室4	489	3,912
講座室5	529	6,269
講座室6	369	2,023
講座室7	270	1,603
講座室8(※)	—	—
講座室9(※)	—	—
和室(※)	—	—
料理室	35	354
工作室	283	2,305
美術室	370	2,587
音楽室1	887	10,300
音楽室2	703	4,890
陶芸室	486	2,079
保育室(※)	—	—
合計	5,441	43,827

注：学習室利用人数…3,782人

※：講座室8・9、和室、保育室は、新型コロナウイルスワクチン配送センターとして利用のため、4年4月1日から5年3月31日まで貸出を休止

●向山庭園

庭園を有する和風の施設である。文芸・茶道・華道・囲碁などの活動場所としてだけでなく、会議や学習の会場としても、広く区民に親しまれている。

平成30年度からは、春に観桜会、秋に観楓会として、コンサート・茶会・いけ花の展示などのイベントを行っている。

管理運営は指定管理者が行い、年末年始を除く通年開園している。

〔向山庭園の利用状況〕

4年度

	利用件数(件)	利用者数(人)
茶室	606	2,621
和室(第1)	656	2,546
和室(第2)	765	2,982
和室(第3)	532	3,408
多目的室	640	3,043
日本庭園	4	20
庭園見学者	—	61,286
計	3,203	75,906

●学習の機会の充実

現代社会のさまざまな人権問題に関する学習を推進するため、人権講座を開催している。

4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全5回中1回を中止した。

・地域ふれあい講座(4回実施、31人参加)

●学校施設の地域開放推進

学校が地域の核として健全で豊かなコミュニティづくりの場となることを目指して、学校施設を開放している。

- ・校庭開放
- ・学校図書館開放
- ・教室開放
- ・学校体育館開放

●学校施設の一般利用

学校応援団や学校開放運営委員会による施設開放のほかに、学校への事前申請に基づき、区民の一般利用に提供している。

提供する施設は、校庭、屋内運動場、教室などのほか、開進第二中学校と大泉中学校に設置しているセミナーハウスがある。

(2) 読書活動を支援する

【関連資料：「練馬区教育要覧」練馬区教育委員会】

●図書館

地域の情報拠点として、図書館資料の収集・貸出しをはじめ、行政情報や地域情報を発信するとともに、区民の読書活動の普及・啓発のため、さまざまな事業を実施している。

また、利用者が求めている資料を的確に探し出し、調査や学習を手助けするためのレファレンスサービスの充実を図っている。

さらに、4年11月に策定した「これからの図書館構想」により、図書館運営の基本理念を「世界につながる 彩り豊かな 知の情報拠点」とし、サービスの充実を図っている。

1 施設の充実

(1) 図書館（12館）

光が丘、練馬、石神井、平和台、大泉、関町、貫井、稲荷山、小竹、南大泉、春日町、南田中

(2) 分室（1分室）

南大泉図書館分室（こどもと本のひろば）
乳幼児から小学校低学年までの子どもたちと、その保護者を対象としている。

(3) 図書館資料受取窓口（6所）

高野台（生涯学習センター分館内）、豊玉（豊玉リサイクルセンター内）、石神井公園駅（西武池袋線高架下）、大泉学園駅（リズモ大泉学園4階）、北町（北町地区区民館内）、上石神井（上石神井南地域集会所内）に設置している。

予約した資料の受取と返却および利用登録ができる。また、資料の検索・予約ができる（高野台を除く。）。

2 利用の促進

「東京都公立図書館調査（4年度実績）」によると、図書館資料の個人貸出点数および、個人予約点数は23区中第1位となっている。

資料の閲覧や貸出しのほか、季節や社会情勢に沿ったテーマの資料を展示するなど、利用者の読書の幅が広がるよう工夫している。加えて、普段馴染みのない本にも興味を持ってもらうため、内容が分からないように本を包装した「本の福袋」の貸出しも行っている。

また、読んだ日、タイトルや感想などを自分で記入することにより、読書記録をつけることができる読書ノートを配布している。

このほか、図書館をより身近に感じてもらうため、生活や趣味に関連した講座や講演会、参加型イベント、バリアフリー映画会や音楽会なども開催し、一部をYouTube練馬区立図書館公式チャンネルで公開している。

3 子どもの読書活動の推進

子どもたちが本に親しみ、生涯にわたり読書習慣を身につけることができるよう「第四次練馬区子ども読書活動推進計画」を2年3月に策定した。これにより、発達段階に応じた読書環境を整えるため、さまざまな取組を進めている。

(1) 事業

- ・よみきかせ・おはなし会やおたのしみ会
- ・ブックスタート事業
赤ちゃんと保護者が絵本を介して触れ合えるよう、絵本を手渡す事業
4年度 3,585セット配付
- ・本の探検ラリー
クイズを解きながらさまざまな本と出会い、親しむことができる参加型イベント

(2) ボランティアとの連携

読書活動の担い手の育成に努め、関係団体との連携を図っている。

- ・ボランティアへの講習会の実施
- ・ボランティア団体との協働
- ・地域文庫の活動への助成
4年度 15団体 651冊

〔子どもの読書活動推進に関する催し実施状況〕 4年度

催し名	実施数	参加者数（人）
よみきかせ・おはなし会	1,029回	9,799
おたのしみ会	24回	676
子ども読書の日・こども読書週間記念行事	28回	993
本の探検ラリー (小・中学校開催)	延べ35校	4,018

注：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業を中止・縮小した。

4 学校支援

小・中学校への団体貸出し、「ブックトーク」（テーマに沿ってさまざまなジャンルから本を紹介する事業）や「本の探検ラリー」、図書館見学・職場体験の受入れなどを実施し、子どもたちの読書活動を支援している。

- ・各校の学校図書館運営計画に基づく、学校図書館の図書選定の支援や蔵書管理
- ・調べ学習のための資料の提供

5 障害のある人へのサービス

全国の図書館などと連携して点字資料・録音資料の郵送貸出しを行うほか、ボランティアの協力を得て、本や雑誌の録音資料製作や対面朗読サービスを行っている。

また、外出が困難な区内在住の障害者等には、郵送で図書館資料を貸出すサービスを行っている。

そのほか、乳幼児や障害児向けの布の絵本の製作や、聴覚障害児も楽しめる手話つきおはなし会を行っている。

〔サービスの状況〕 4年度

項目	点数等	
製作録音資料数	146点	
対面朗読実施時間	延べ1,582時間	
外出困難障害者等資料郵送サービス貸出点数	7,810点	
布の絵本製作数	38点	
講習会名	実施数（回）	参加者数（人）
音訳者養成等講習会	13	延べ193
布の絵本製作講習会	4	延べ35

6 図書館情報システム

図書館資料の貸出し・返却・予約などの基本的な業務を管理するシステムで、年間約700万点の資料貸出しに対応している。

また、利用者の利便性を高めるため資料検索機や家庭用パソコン・携帯電話等からの資料検索・予約サービス、Eメールによる予約資料の取置き通知サービス等を実施している。

〔予約状況〕 4年度

項目	点数等
予約点数（個人）	2,300,074点
うちインターネットからの予約	2,017,304点
予約点数に占めるインターネット予約割合	87.7%

〔図書館の利用状況等〕

館名	種別	個人利用 登録者数 (人)	団体利用 登録数 (団体)	来館者数 (人)	貸出数			貸出予約数		
					個人貸出 点数 (点)	団体貸出 点数 (点)	協力貸出 点数 (点)	個人予約 点数 (点)	団体予約 点数 (点)	協力予約 点数 (点)
光が丘		39,084	166	627,106	1,075,298	13,534	4,151	310,101	1,207	1,996
練馬		25,369	142	406,169	593,332	18,336	473	207,980	6,664	504
石神井		22,758	95	276,396	584,333	13,761	1,074	124,025	6,008	1,131
平和台		15,023	140	229,398	482,123	12,305	485	146,782	5,581	515
大泉		15,001	135	246,065	456,258	18,166	627	119,101	13,743	641
関町		14,991	139	266,341	497,710	11,532	352	175,270	1,828	363
貫井		19,607	62	589,177	600,294	7,260	397	209,318	3,389	407
稲荷山		5,778	84	102,502	175,926	11,846	651	44,852	692	668
小竹		10,994	77	209,790	385,625	9,788	215	142,998	4,125	227
南大泉		8,336	76	174,452	358,912	3,652	149	107,475	1,688	164
南大泉分室		3,682	22	56,399	135,818	1,465	10	32,324	190	9
春日町		11,635	106	319,619	452,085	8,792	243	135,112	2,312	243
南田中		7,206	107	169,706	307,208	7,702	237	84,961	54	233
全館計		199,464	1,351	3,673,120	6,104,922	138,139	9,064	1,840,299	47,481	7,101
高野台受取窓口		604	—	14,296	41,739	—	—	33,953	—	—
豊玉受取窓口		770	—	22,960	64,581	—	—	54,710	—	—
石神井公園駅受取窓口		3,164	—	77,161	183,174	—	—	156,834	—	—
大泉学園駅受取窓口		4,402	—	58,048	148,813	—	—	123,607	—	—
北町受取窓口		876	—	15,145	42,134	—	—	37,657	—	—
上石神井受取窓口		1,129	—	21,946	62,483	—	—	53,014	—	—
合計		210,409	1,351	3,882,676	6,647,846	138,139	9,064	2,300,074	47,481	7,101

〔図書館の所蔵資料〕

4年度末現在

館名	種別	図書資料 (冊)	雑誌 (冊)	視聴覚資料 (組)	視覚障害 者用資料 (点)
光が丘		330,910	13,468	22,164	6,512
練馬		150,128	3,207	11,654	1,172
石神井		226,861	2,814	8,068	—
平和台		160,060	3,597	8,049	—
大泉		228,454	3,451	8,673	—
関町		151,779	6,269	7,058	—
貫井		140,977	4,158	7,474	—
稲荷山		91,257	3,323	4,552	—
小竹		84,678	2,306	8,329	—
南大泉		68,477	1,980	4,739	—
南大泉分室		27,894	201	—	—
春日町		114,444	2,695	9,390	—
南田中		109,767	2,328	6,243	—
合計		1,885,686	49,797	106,393	7,684

(3) 文化財を保存・活用・継承する

●文化財保護の推進

区には、郷土の歴史や自然を伝える有形、無形の文化財が多数ある。

文化財を守るためには、区民一人ひとりの理解と認識を高めることが必要である。区は、かけがえのない文化財を保護・保存するとともに区民に紹介し、文化財に対する理解と認識の向上に努めている。

●文化財の指定・登録

昭和61年3月に制定された「練馬区文化財保護条例」に基づき、同年12月に学識経験者で構成された練馬区文化財保護審議会を設置している。

区指定・登録文化財は、区が事前調査を行い、文化財保護審議会の答申に基づき、所有者の同意を得て指定・登録される。4年度は新規の登録が2件であった。(区内の指定・登録文化財については、巻末資料の234～235ページを参照)



〔東本村の庚申塔〕



〔豊島家文書〕

●文化財保護のための主な事業

1 埋蔵文化財の調査・保存・活用

開発行為により、埋蔵文化財（遺跡等）の破壊の危険があることから、区では、遺跡等の範囲の確認を行うとともに、その保護・保存に努めている。遺跡消滅の恐れがある場合は、発掘調査等を実施し、記録保存の措置をとっている。

4年度は遺跡地で工事を行う届出が120件、通知が7件あり、遺跡の有無を確認するための試掘・立会調査が92件、発掘調査が2件あった。

出土品の一部は、生涯学習センター分館などに展示している。

2 東京文化財ウィーク参加事業

「東京文化財ウィーク」は、都の呼びかけによる、国・都指定文化財の公開を促進する期間である。4年度は10月29日から11月6日までの9日間を中心に、つぎの企画事業を行った。

・^{おさき}尾崎遺跡の展示説明会（10月29日 13人参加）

また、石神井公園ふるさと文化館で、つぎの企画事業を行った。

・石神井城跡発掘パネル展（10月29日～11月6日）
・特別公開「小野蘭山墓誌」（10月29日～11月6日）

3 刊行物の発行

4年度はつぎの刊行物を発行した。

- ・ねりまの文化財（年2回）
- ・埋蔵文化財調査報告37

4 文化財説明板、道標の設置

身近な文化財に対する区民の理解を深めるため、説明板などの設置を行っている。4年度は、既に設置された説明板の修繕を9件実施し、総数177件となっている。また、道標は29か所に設置している。

5 文化財防火デー

昭和24年1月26日、法隆寺金堂壁画が焼損したことをきっかけとして、毎年この日を中心に全国的に文化財防火運動が行われている。

区では、各消防署と連携しながら、文化財愛護のPRに努めている。4年度は、長命寺、三宝寺で一斉放水等の訓練を行った。

6 郷土芸能ねりま座公演

区内で継承されている民俗芸能の普及・発展のために公演を開催した。祭囃子連が3団体出演した。

●文化財保護推進員

文化財の現況を把握し、区民に文化財保護思想の普及・啓発を図るため、昭和63年2月に文化財保護推進員制度を設けた。

文化財の所有者をはじめ多くの区民の協力のもとに、文化財の保護・保存を行っている。

●^{おさき}尾崎遺跡資料展示室

春日小学校建設の際に調査した「尾崎遺跡」の資料展示室を、昭和58年、同小学校内に開設し、出土品約200点を展示している。

(4) 区民のスポーツ活動を支援する

●スポーツ施設の整備

区民のスポーツ活動参加を促進するために、区ではスポーツ施設の整備を図り、活動の場の確保を進めている。

4年度は、総合体育館の天井・空調設備等改修工事を行った。

4年度末現在、区のスポーツ施設は、体育館7館、プール7所、成人野球場5面、少年野球場6面、庭球場29面、多目的運動場6面、競技場1面、多目的広場4か所、スポーツ広場1所である。

●スポーツの機会の充実

豊かなみどりの中で誰もがスポーツを楽しめるまちを目指し、スポーツ施設を積極的に整備してきた。

これらの施設では、地域のスポーツ団体をはじめ、区民の活発なスポーツ活動が行われている。こうしたスポーツ団体との協働により、区民体育大会、練馬こぼしハーフマラソンといったイベントや初心者スポーツ教室などを実施している。

〔屋外施設の利用状況〕

4年度

区分	施設名(面)	利用数(人)
庭球場	豊玉中公園庭球場	3 25,443
	びくに公園庭球場	2 6,326
	土支田庭球場	7 42,714
	夏の雲公園庭球場	4 42,030
	大泉さくら運動公園運動場(庭球場)	3 20,698
	大泉学園町希望が丘公園運動場(庭球場)	3 28,884
	石神井松の風文化公園(庭球場)	7 50,726
成人野球場	学田公園野球場	1 11,172
	北大泉野球場	2 13,632
	東台野球場	2 24,032
少年野球場	荒川河川敷野球場(硬式少年野球)	3 32,381
	練馬総合運動場少年野球場	2 27,957
	大泉学園少年野球場	1 9,381
運動場等	練馬総合運動場公園(陸上競技場・多目的広場)	69,656
	大泉運動場	47,348
	大泉さくら運動公園運動場(多目的運動場)	85,068
	大泉学園町希望が丘公園運動場(多目的運動場)	46,747
	石神井松の風文化公園(多目的広場)	37,876
	びくに公園多目的広場	22,921
	総合体育館東側多目的広場(※)	494

※：総合体育館東側多目的広場は、体育館の改修工事のため4年10月1日から5年3月31日まで休場

〔体育館の利用状況〕

(単位：人) 4年度

施設名 区分	総合体育館(※1)	桜台体育館	上石神井体育館	平和台体育館	大泉学園町体育館	光が丘体育館	中村南スポーツ交流センター
個人利用	14,074	10,035	42,103	40,628	41,531	(※2) 23,329	20,473
登録団体利用	21,937	21,123	24,372	19,484	16,485	18,321	13,551
連盟・SSC	10,052	4,341	5,656	18,599	15,782	27,025	26,148
大会・事業等	6,201	6,032	7,236	2,525	2,768	13,719	1,282
自主事業	—	—	5,719	3,682	4,512	7,912	23,299
健康体力相談等	—	—	—	—	—	167	—
トレーニング室	14,347	—	33,458	23,962	31,778	53,549	40,742
合計	66,611	41,531	118,544	108,880	112,856	144,022	125,495

注：トレーニング室には説明会参加者を含む。

※1：総合体育館は、改修工事のため4年10月1日から5年3月31日まで休館

※2：光が丘体育館の個人利用には屋内ランニングコース利用者を含む。

〔プールの利用状況〕

(単位：人) 4年度

施設名 区分	上石神井体育館 温水プール	平和台体育館 温水プール	大泉学園町 体育館温水 プール	光が丘体育館 温水プール	中村南スポーツ 交流センター 温水プール	三原台 温水プール	石神井プール
個人利用	70,155	72,944	56,230	79,074	97,890	64,528	34,227
登録団体利用	7,556	2,125	5,717	7,161	3,095	12,485	—
連盟・SSC	1,570	5,054	9,405	1,304	11,796	4,467	—
大会・事業等	2,369	186	398	2,818	645	374	—
自主事業	2,204	5,278	—	—	6,117	2,738	—
障害者専用コース	1,181	744	1,436	940	738	839	—
合計	85,035	86,331	73,186	91,297	120,281	85,431	34,227

〔スポーツ事業〕

4年度

区分	内容および参加人数(人)		
各種大会	区民体育大会(※1)	35種目	16,576
		総合開会式	480
	都民体育大会	28種目	378
	都民生涯スポーツ大会(※3)	11種目	108
	城北地区競技会(※1)	4種目	93
	女性スポーツ大会	3種目	703
	都民スポレクふれあい大会	2種目	36
野外活動	城西ブロックスポーツ交流大会	5種目	237
	区民歩行会	10月30日 加治丘陵	15
		親子アウトドア体験	3月12日 光が丘公園
	初心者スポーツ教室	30種目53教室	2,256
	夏休み水泳教室(※2)	—	—
	少年少女スポーツふれあいひろば	2月12日実施	265
	スポーツの日記念行事	10月10日実施	6,685
		光が丘体育館ほか5会場	

※1：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部中止

※2：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止

※3：台風のため一部中止

●地域スポーツ指導者の育成

スポーツ実施率を更に高めるため、多様なスポーツへの要望に応じられるよう、質の高い指導者等の育成に努めている。

1 スポーツ推進委員

区内でのスポーツ推進のため、スポーツ事業の実施に係る連絡調整やスポーツに関する指導と助言等を行っている。4年度末現在、20人のスポーツ推進委員が活動している。

区民歩行会や小学生を対象としたアウトドア事業など、さまざまなイベントの実施を通して、区民にスポーツをする楽しさを伝え、参加へつなげている。また、区内スポーツ関係団体が連携して実施するスポーツイベントの連絡調整および運営や、パラスポーツに係る取組も行っている。

2 スポーツリーダー養成講習会

スポーツリーダー養成講習会を開き、修了者に対して認定を行っている。4年度末現在、505人が認定を受けている。

●総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブ(SSC)は、地域の人々が中心となって運営し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が交流できる点に特色がある。

現在、7つのクラブは区立体育館に活動拠点を設け、会員制による運営を行っている。

〔総合型地域スポーツクラブ(SSC)〕

4年度

クラブ名 (通称名)	設立年月日	主催・共催 事業参加者数 (人)
NPO法人SSC谷原アルファ (SSC谷原)	平成14年8月24日	18,174
NPO法人スポーツコミュニティー桜 (SSC桜台)	平成14年9月5日	4,317
NPO法人スポーツクラブホワイエ 上石神井 (SSC上石神井)	平成14年12月17日	10,840
NPO法人総合型地域スポーツ クラブ平和台 (SSC平和台)	平成14年10月4日	20,744
NPO法人光が丘総合型地域 スポーツ・レクリエーションクラブ (SSC光が丘)	平成14年9月10日	7,561
NPO法人コミュニティネットSSC 大泉 (SSC大泉)	平成14年8月13日	39,232
NPO法人豊玉・中村地域スポーツクラブ クラブプラッツ (SSC豊玉・中村)	平成21年2月21日	17,083

●練馬こぶしハーフマラソン

区民の健康・体力の更なる増進と地域スポーツの振興、練馬の魅力の発信を目的として、平成26年度から30年度まで毎年実施していた。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、元年度から3年度まで開催を中止したが、4年度は3月に4年ぶりに開催した。5年度も同月に開催を予定している。

満開のこぶしや桜を楽しみながら幹線道路を走行できるコースや、沿道からの途切れない応援が大会の特色であり、参加者から高い評価を得ている。



〔練馬こぶしハーフマラソン ロゴ〕
区の木である「こぶし」の花がデザインされている。

〔開催状況〕

ハーフマラソン種目

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
開催日	27.3.29	28.3.27	29.3.26	30.3.25	31.3.24	5.3.26
開催時天気	晴	晴	雨	晴	晴	雨
エントリー数	5,248人	5,240人	5,239人	5,423人	5,433人	5,442人
当日出走者数	4,674人	4,602人	4,021人	4,807人	4,764人	4,361人
完走者数 (完走率)	4,464人 (95.5%)	4,478人 (97.3%)	3,899人 (97.0%)	4,510人 (93.8%)	4,512人 (94.7%)	4,182人 (95.9%)

マイルラン種目

		第3回	第4回	第5回	第6回
エントリー数	中学生の部	150人	100人	58人	—
	小学生と ペアの部	330組 660人	296組 592人	342組 684人	445組 890人
当日 出走者数	中学生の部	100人	83人	53人	—
	小学生と ペアの部	約200組	269組 538人	303組 606人	328組 656人

注：①第3回は試行実施

②第6回から中学生の部は廃止